

# 『あるヴァイオリンの旅路』が

5月22日の日本経済新聞で紹介されました！

## あるヴァイオリンの旅路

移民たちのヨーロッパ文化史

フィリップ・ブローム：著 佐藤正樹：訳

偶然手に入れた無銘のヴァイオリンに愛着を感じた著者が、その来歴を探る旅を通してヨーロッパ300年の歴史を描く。気候変動、戦争、疫病、経済変化、器楽の発達、音楽史、文化史といった多面的歴史と、生きるために移民となりヨーロッパ文化を陰で支えた無名の人々の姿が、ひとつの楽器の中に浮かび上がる。推理小説のように展開する楽器の作者捜しの旅は、個人の記憶と壮大な歴史が絡み合い読者を迷宮に誘う。



四六版・並製・366頁／本体3,400円  
2021年2月刊行

貴店名・帳合	法政大学出版局	返条付注文
	あるヴァイオリンの旅路 978-4-588-35235-5 3,400円	冊

\*部数を調整させていただく可能性もございますので、あらかじめご了承ください。

法政大学出版局 行き

F A X

03-5214-5542